

委員長から報告があります！

平成30年度決算について総務委員会で審査を行い、認定しました。また、委員会からの意見や要望を伝えました。

平成30年度 一般会計の決算額

歳入 (町に入ったお金) **34億3,335万円**
歳出 (町が使ったお金) **32億6,101万円**

【審査の結果】

一般会計の決算収支では、歳入歳出の差引額は172,340千円となり、翌年度に繰り越す77,880千円を除き、実質収支額としては94,460千円の黒字であった。また、健全化判断比率及び資金収支比率についても健全化比率基準を下回っており、財政運営も健全であると認められる。今後も財政運営が低下しないよう努めていただきたい。

町税等の収納については、職員の努力により高い収納率となっている。滞納整理は大変困難で、かつ地味な職務ではあるが、財源の確保、税負担の公平性の原則から、引き続き努力をお願いしたい。

全審査項目とも予算は適切に執行されていると認められた。しかし、改善する余地もあり、次のような意見・要望があった。

【審査にあたっての意見・要望等】

総務課

- ・現在使用している日立システムズのシステムについて、岐阜県市町村行政情報センターのシステムへの移行を含め、見直しを図られたい。
- ・中学校における少年消防クラブ活動の継続に努められたい。



福祉課

- ・現在町交通機関が、デマンドタクシーと福祉バスの二重となっているので、それぞれの継続に対する判断基準を明確にし、廃止を含め、そのあり方を検討されたい。
- ・福祉バスについて、車両の小型化やリース等による経費の削減を検討されたい。



水道環境課

- ・受益者の利便性向上のため、コンビニ収納の導入を検討されたい。

産業建設課

- ・町猟友会員の高齢化等を踏まえ、有害鳥獣駆除対策の広域化や、若者等への狩猟免許取得支援を進められたい。



教育課

- ・現在の郷土資料館は耐震性のない建物であることから、今後の在り方について検討されたい。
- ・町民ふれあいプールについて、管理経費が多額であることから、今後の運営の在り方を検討されたい。



【日比野代表監査委員からの意見】

- ・経常収支比率が前年度の 89.7% から 89.6% と横ばい状態です。人件費・物件費・扶助費の増加等が要因であり、このことは他の事業への影響も大きく、硬直化が懸念されます。税収の確保とともに経費節減に努められたい。又、投資効果の上がる事業に絞って、地方財政の基本である、最少の経費で最大の効果が上がるよう取り組んでいただきたい。
- ・国民健康保険特別会計については、5年後を目途に県統一化により、連合会から標準税率が示される予定と聞いています。国民健康保険運営協議会において保険税率の引き下げを含め、慎重に審議されることを望みます。
- ・上水道事業について、漏水調査による改修工事を進めており、有収率が回復しています。引き続き漏水対策に努めていただくとともに、坂祝町水道事業経営戦略および水道ビジョンに基づき、町民に適正な料金で、安全な水を安定的に供給できるよう努めていただきたい。